

# 町政を問う

## 一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ただ

ページ	質問者	質問事項
5	藤本 健太 議員	1. 高齢者及び一人世帯の孤独死への対応は 2. 野良猫の不妊去勢手術に対する補助金創設をしてはどうか
6	中島 数宜 議員 尺田 耕平 議員	1. 4年ぶりの一斉清掃となったが、町としての問題点、課題は 1. 督促手数料100円の徴収と財務管理は
7	水原 耕一 議員	1. 食品ロス削減と子どもの貧困対策は 2. コミュニティ・スクールの現状と課題は
8	光本 一也 議員 竹爪 憲吾 議員	1. 熊野町のすべての小中学生に温かい学校給食を 1. ご当地ナンバープレートの計画は
9	沖田 ゆかり 議員	1. 単身高齢者への終活支援を 2. 視覚障がい者や外国人への情報支援を
10	大瀬戸 宏樹 議員 福垣内 邦治 議員	1. 公共施設の現状と対策は 1. 特殊詐欺等対策に取り組んでいるか
11	荒瀧 穂積 議員	1. 地方分権、行政改革への取組状況は 2. これまで約60億円投資の筆の里工場の今後は

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ( <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> )から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

## Q 高齢者及び一人世帯の孤独死への対応は

A 町長

自助・互助・共助の多方面からの取り組みにより、必要な支援を行う。



藤本 健太 議員

【Q1】

現在の本町の高齢者の単身世帯数は。

【A1】

令和2年の国勢調査では、全世帯9,413世帯のうち1,458世帯で全体の15.5%。

【Q2】

今年度の孤独死に関連した相談件数は。

【A2】

11月末現在で4件が確認できている。

【Q3】

その時の状況、対応は。

【A3】

民生委員や近所の方からの連絡の後、地域包括支援センターの職員が現場を訪問し、応答がない場合は、警察とともに対応した。

【Q4】

行政としての相談窓口対応は。

【A4】

役場、地域包括支援センターの他、相談者が相談しやすい環境を構築している。

【Q5】

今後どのような取り組みを考えているか。

【A5】

出前講座や各種講座など各地域に出向くときを利用して身近な相談窓口の周知を行うなど、町や関係機関も連携し、社会的孤立がないような地域づくりの推進を目指していく。

## Q 野良猫の不妊去勢手術に対する補助金創設をしてはどうか

A 生活環境課長

他の市町に現状と課題を聞き取り研究していく。

【Q1】

野良猫などへの餌やりを行わないための対応は。

【A1】

現場を確認のうえ、①野良猫が増える原因②野良猫の糞尿などで苦情がある③結果として不幸な猫を増やしてしまう。以上の3点をお話している。

【Q2】

野良猫の捕獲はできないのか。

【A2】

以前は広島県動物愛護センターによる定期巡回回収があったが、動物愛護の考えより平成26年度より廃止され現在は行っていない。

【Q3】

地域猫活動制度に対する考え方は。

【A3】

活動について、広島県動物愛護センターへ申請し、猫と共存をしていく方法もあると考えている。

【Q4】

他の市町で行われた一斉不妊去勢治療と同様の取り組みはできないか。

【A4】

本町での実施について今後も研究していく。

